

札幌社保協 FAXニュース

2013年 3月18日(月)
社保協事務局 発行
Tel823-0867 Fax821-3701
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
高齢者110番は
3月28日(木)です

重税反対統一行動

消費税増税中止! 社会保障の拡充!

今年の重税反対統一行動は、3/13日を中心に全国各地で行われました。

【札幌中部集会】は3/12、中部民商を中心に中央区の会館に316人が参加して集会を開催。その後、水びたしの雪道をデモ行進で中税務署へ向かい、税務署前で申告書を提出しました。他の税務署へはバスで集団申請に向かいました。(写真左)



【道生連札幌集会】は3/13に中央区内の会館で開かれ、豊平・清田から12人が集まりました。細川副会長が税金申告の意義と、生活保護改悪についてあいさつし、その後市の税務課職員にそれぞれの確定申告を行いました。

子どもに良い環境を 保育労働者の待遇改善を

保育連が 対市交渉

札幌保育連・保育労組と札幌市子育て支援部との交渉が3/8行われ、父母や保育労働者100人余が参加しました。交渉での主な論点と市側の回答などを紹介します。

●子ども子育て支援法に対する態度 保育連側からは幼保一元化や「幼児教育」に対する厳しい意見が出されました。→市側は詳細が不明で苦慮していることを述べましたが、消費税増税を前提にした子ども子育て支援の財源が認められたことには、評価する態度を示しました。

●新法による子育て会議設置について→努力義務だが札幌市では設置予定。関係者・保護者を入れることになっており、選定方法はこれから決める。

●栄養士がいる園での調理の外部委託について、参加者からやめるようにと厳しい意見が続出→市は保育団体や保護者から要望があった訳でもないのに、国の方針に沿って「選択肢を増やしたもの」と回答。

●保育料値上げについて父母からは「収入が減っている中で引き上げは家計に追い打ちをかけるもの」と撤回を求める声が多くありました。→経済情勢低迷で保護者の状態も厳しいのは認識している。国の基準よりも低くしているので理解してほしい。

●保育労働者の待遇改善～保育士などから仕事に対して給与が安すぎることで、保育士を募集しても集まらないことなどが出されました。東区の保育士は「仕事は楽しくて続けたいと思うが、臨時ではいつまで続けられるかわからない、今の収入で一人暮らしをするにはきびしい」と不安定雇用と生活実態について発言がありました。→低いことは認識している。国に運営費の基準をあげるように要求している。

市住家賃減免 医療費控除は3月支払分まで現行通り

3/8道生連主催の市住家賃減免「改定」実施に関する折衝が市役所内で行われ、関係者20人余が参加しました。改悪で医療費控除が入院だけにされたため、入院費の範囲と通院費の期限について質問が集中しました。

入院の範囲は保険適用で領収書に「入院費」と書かれているものとなりましたが、通院分は昨年9月までに確認したものが対象との回答だったため、参加者から「おかしい」と意見が続出し、再検討扱いとなりました。

その後、住宅管理課から「3/31までの医療費支払い分(通院・入院分)は現行制度の扱いとして認める」との再回答がありました。

